

4 消防団員の手記

4 消防団員の手記

(1) 財団法人日本消防協会編集の 「消防団の闘い - 3.11 東日本大震災 -」

目 次

第1章 東日本大震災の概要

- 1 地震の概要
- 2 被害の状況
- 3 消防機関の活動

第2章 消防団員の活動



活動県	タイトル	所属・氏名
青森県	「津波が来てからじゃ遅いんです」	八戸市消防団 本部分団長 上野 玉地
青森県	前年の大規模避難訓練のおかげで「犠牲者ゼロ」	八戸市消防団 市川分団分団長 小向 猛彦
岩手県	積極的に活動した消防団	田野畑村消防団 第1分団第1部分団長 中嶋 恭一
岩手県	駅舎も跡形なくなった沿岸部での活動	田野畑村消防団 第2分団第1部分団長 佐々木 茂
岩手県	明け方まで続いた消火活動から眠る間もなく捜索活動へ	野田村消防団 第3分団分団長 土内 徳一郎
岩手県	震災当日夜にも大きな津波が来襲	野田村消防団 第4分団分団長 橋場 敏光
岩手県	「皆さんから感謝されると良かったなって思いますね」	宮古市消防団 第22分団分団長 佐々木 積
岩手県	水門閉鎖後、間一髪で避難	宮古市消防団 第32分団分団長 佐々木 照夫
岩手県	3日3晩・不眠不休で住民の避難支援と消火活動	山田町消防団 第2分団分団長 糠盛 祐一
岩手県	今まで以上に深まった“絆”	山田町消防団 第4分団分団長 昆 定夫
岩手県	「おまえのおかげで助かった」の感謝のことばを胸に	大槌町消防団 第2分団 部長 鈴木 亨
岩手県	「やっぱり消防に入って良かったですよ」	大槌町消防団 第3分団分団長 外館 竹男
岩手県	大丈夫の思い込みが生死を別けた	釜石市消防団 本部分団長 鈴木 堅一
岩手県	「高いところにいる、せつかく助かった命だ」	釜石市消防団 第6分団本部副分団長 佐々 幸雄
岩手県	水門閉鎖は地元企業に委託してはどうか	大船渡市消防団 第3分団分団長 佐々木 啓
岩手県	避難についての住民意識を変えるソフト面の対策が必要	大船渡市消防団 第10分団分団長 千田 岳明
岩手県	海に接していない高田分団が津波被災地への道を切り開く	陸前高田市消防団 副団長 渡邊 克己
岩手県	帰してあげたいの一心で捜索活動を継続	陸前高田市消防団 米崎分団分団長 熊谷 政之
宮城県	緊急消防援助隊に引き継いだ鹿折地区大火	気仙沼市消防団 本部副団長 菊池 賢一
宮城県	消防団無線を通じて知った我が町壊滅の知らせ	気仙沼市消防団 第13分団副分団長 三浦 弘一
宮城県	津波でんでんこの精神で培われた地域力	南三陸町消防団 副団長 高橋 一郎
宮城県	船は沖出しでせず、避難に次ぐ避難	南三陸町消防団 第2分団副分団長 村岡 賢一
宮城県	津波により石巻消防団本部分動きでせず	石巻市石巻消防団 団長 門脇 政喜
宮城県	涙は3日だけ、あとは強い絆に感謝	石巻市河北消防団 団長 遠藤 宏

活動県	タイトル	所属・氏名
宮城県	命を奪い去っていった津波に激しい憤りがこみ上げた	女川町消防団 第3分団副分団長 川添 丈
宮城県	管内住民から犠牲者がいなかったのがせめてもの救い	女川町消防団 第5分団桐ヶ崎班班長 鈴木 義光
宮城県	島の船着場を一気に飲み込んだ津波	塩竈市浦戸消防団 団長 内海 勝 塩竈市浦戸消防団 第2分団分団長 内海 新一郎
宮城県	島民の備蓄食分け合い自給自足体制で	塩竈市浦戸消防団 第1分団班長 浅岡 進
宮城県	団員から次々に届く深刻な情報	東松島市消防団 団長 阿部 賢一
宮城県	津波に揉まれて遠ざかる人影	東松島市消防団 第10分団分団長 櫻井 光悦
宮城県	水門を閉めた、遺体も運んだ、全力で団員は対応した	七ヶ浜町消防団 副団長 氏家 進
宮城県	ボウッと迫ってきたのは、海や家や瓦礫だった	七ヶ浜町消防団 第2分団分団長 渡邊 留四郎
宮城県	大雨は頭に入っているが津波は考えていなかった	多賀城市消防団 第5分団分団長 赤間 高雄
宮城県	より高いところに避難するという広報が重要	多賀城市消防団 第6分団分団長 伊藤 勲
宮城県	仙台東部道路の東側は瓦礫の山となっていた	仙台市若林消防団 七郷分団六丁の目伊在部部长 佐藤 秀明
宮城県	大震災時の消防団活動をいかに継承すべきか	仙台市宮城野消防団 高砂分団南福室部班長 川村 康裕
宮城県	仙台空港への避難が死者を最小限に抑えた	名取市消防団 下増田分団分団長 加藤 治
宮城県	増田川の水が引くのを見て津波を直感	名取市消防団 関上分団副分団長 三浦 裕一
宮城県	的確な情報と適切な連絡手段が団員の命を守るために必要	岩沼市消防団 副団長 大村 昇
宮城県	積極的な避難を徹底すべし	亘理町消防団 吉田分団分団長 平間 英一郎
宮城県	毎年6月の避難訓練の効果が活かされた	亘理町消防団 荒浜分団分団長 島田 金一
宮城県	多くの生命とイチゴ・ホッキ貝を奪った津波の壁	山元町消防団 第6分団第1班班長 岩佐 隆彦
宮城県	地元の利を活かせる消防団の活動は重要	山元町消防団 第6分団第2班班長 菊地 康彦
福島県	救助も火災も消防団の力で	相馬市消防団 第3分団分団長 立谷 耕一
福島県	女房と助けた人の生命	相馬市消防団 第7分団分団長 桑折 健一
福島県	亡くなった分団長らの無念の遺志を継ぐ	相馬市消防団 第9分団第1班機関員 遠藤 一美
福島県	多数の生命を救ってくれた消防団員に報いるため	相馬市長 立谷 秀清
福島県	辛かったが、やって良かった遺体の捜索と収容	新地町消防団 副団長 角田 正悦
福島県	消防団と共に“頑張っぺ 福島”	新地町消防団 第2分団第5部分分団長 小野 茂夫
福島県	家族に心配されながらも最後まで捜索を諦めなかった	南相馬市消防団 小高区団副団長 片岡 芳廣
福島県	あの日から一歩も他には行かないと決心した	南相馬市消防団 原町区団副団長 山見 重信
福島県	津波への警戒心薄かった地域住民	いわき市消防団 第2支団第1分団庶務部長 吉田 一弥
福島県	震災後は救援物資の配布作業に明け暮れた	いわき市消防団 第2支団第3分団分団長 石井 宮喜
福島県	ポンプ車もろとも濁流に揉まれて	いわき市消防団 第7支団副支団長 渡部 喜和
福島県	福島原発避難者を迎えて女性消防団の活躍	田村市消防団 常葉地区隊庶務分団女性部部长 渡邊 清子 田村市消防団 常葉地区隊庶務分団女性部班長 三浦 真由美
福島県	原発事故に伴う避難指示により行方不明者の捜索できず	双葉町消防団 団長 高野 豊実
福島県	分散避難した住民を支援・捜索活動できず	大熊町消防団 団長 吉田 稔

活動県	タイトル	所属・氏名
福島県	消防団員総員で避難住民を支援	富岡町消防団 団長 安藤 治
茨城県	後方支援に活かされた女性の心遣い	北茨城市消防団 本部分団分団長 福田 良子
茨城県	長期化する支援体制の確立を模索	北茨城市消防団 第6分団分団長 上神谷 英典
茨城県	苦い体験に耐え消防団の重要性を実感	北茨城市消防団 第15分団分団長 伊藤 良一
茨城県	消防団歴を踏まえ、きめ細かな災害対策	北茨城市長 豊田 稔
千葉県	「海がこんなに近くにあると思わなかった…」	旭市消防団 本部付中隊長(分団長) 浪川 甚一郎 旭市消防団 第1中隊長(分団長) 林 勝敏

第3章 東日本大震災全国消防団報告研修会

第4章 東日本大震災消防殉職者等全国慰霊祭

第5章 東日本大震災と日本消防協会の対応

- ① 支援金・物資の交付
- ② 義援金の募集及び交付
- ③ 殉職者消防団員特別見舞金の募集
- ④ 東日本大震災に関する要望
- ⑤ 消防車両等の斡旋
- ⑥ 被災地消防団員のメンタルケア
- ⑦ 東日本大震災全国消防団報告研修会の開催
- ⑧ 消防団員の処遇改善など活動環境の整備について（要望）
- ⑨ 東日本大震災と消防活動の写真パネルの展示
- ⑩ 東日本大震災殉職者鎮魂レリーフの設置
- ⑪ 東日本大震災消防殉職者等全国慰霊祭
- ⑫ 「東日本大震災後の我が国消防のあり方に関する意見—消防団を中心として」を決定
- ⑬ 活動記録誌「消防団の闘い」の発刊
- ⑭ 東日本大震災消防殉職者遺児育英奨学基金（消防育英会）への支援

（別紙1） 東日本大震災に関する要望

（別紙2） 消防団員の処遇改善など活動環境の整備について（要望）

（別紙3） 東日本大震災後の我が国消防のあり方に関する意見—消防団を中心として—

東日本大震災において殉職した消防団員職員等氏名

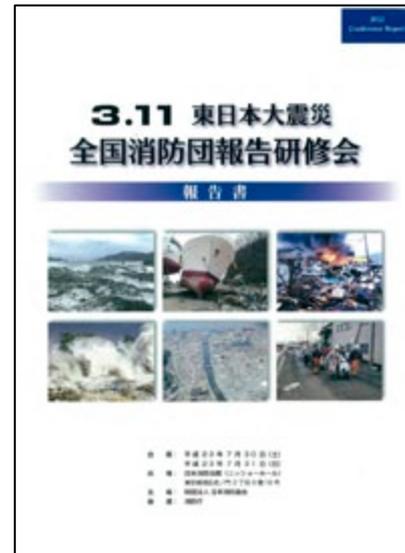
東日本大震災消防団活動記録制作委員会委員名簿

編集後記

(2) 財団法人日本消防協会主催の「3.11 東日本大震災全国消防団研修会」

3. 1 1 東日本大震災 全国消防団報告研修会

— 目 次 —



開催概要

プログラム

あいさつ

講演「東日本大震災の被害状況及び消防の活動状況等について」

消防庁 消防・救急課長 横田 真二

消防団活動報告① 東日本大震災：大津波がすべてを変えた
宮城県 気仙沼市消防団 分団長 村上 貴敏

消防団活動報告② 東日本大震災 南相馬市の状況と消防団活動
福島県 南相馬市消防団 副団長 長澤 初男

消防団活動報告③ 東日本大震災における消防団活動
岩手県 山田町消防団 分団長 大石 秀男

消防団活動報告④ 東日本大震災 黒い津波の襲来
宮城県 名取市消防団 分団長 樋口 恵一

消防団活動報告⑤ 宮古市消防団 第20分団出動記録
岩手県 宮古市消防団分団長 中野 規男

自治体防災職員活動報告 宮城県南三陸町危機管理課
危機管理係長兼住民安全係長 佐藤 智

緊急消防援助隊活動報告 東京消防庁警防部副参事 五十嵐 幸裕

講演「東日本大震災とどう向き合うか」

関西学院大学 総合政策学部 教授 室崎 益輝

パネルディスカッション

「東日本大震災の教訓をこれからの防災対策にいかす」

コーディネーター NHK解説副委員長 山崎 登

パネリスト 消防庁 国民保護・防災部長 佐々木 克樹
関西学院大学 総合政策学部 教授 室崎 益輝
福島県 南相馬市消防団 副団長 長澤 初男
宮城県 気仙沼市消防団 分団長 村上 貴敏
岩手県 山田町消防団 分団長 大石 秀男